

一般病院連携精神医学専門医研修カリキュラム作成の手引き

令和5年4月12日

一般病院連携精神医学専門医研修カリキュラムの作成にあたっては「一般病院連携精神医学専門医研修カリキュラム整備要綱」に沿うことが基本となりますが、以下の点に留意して作成してください。

1. カリキュラムの冒頭で、当該施設の特徴のある総論的なイントロダクションを記載すること。また、当該施設のカリキュラムの特徴を記載すること。
2. 各研修項目^{※1}は、最低限修得すべき項目として含めること。
3. 当該施設のカリキュラムのセールスポイントをできるだけ入れること。
4. 経験すべき身体疾患18例については、70%以上の経験を求めること。

※1 各研修項目の内容は別添の Excel ファイルにある、コアコンピテンシー^{※2}、到達目標、経験目標を参照のこと

※2 コアコンピテンシー (Core competency) を直訳すると「核となる能力」という意味です。核となる能力とは、すなわち「一般病院連携精神医学専門医の得意分野」や「他者には真似できない独自の技術」のことで、一般病院連携精神医学専門医として修得すべき能力・技術を意味します。コアコンピテンシーのもと、本カリキュラムの到達目標や教育の基本的な考え方を検討します。